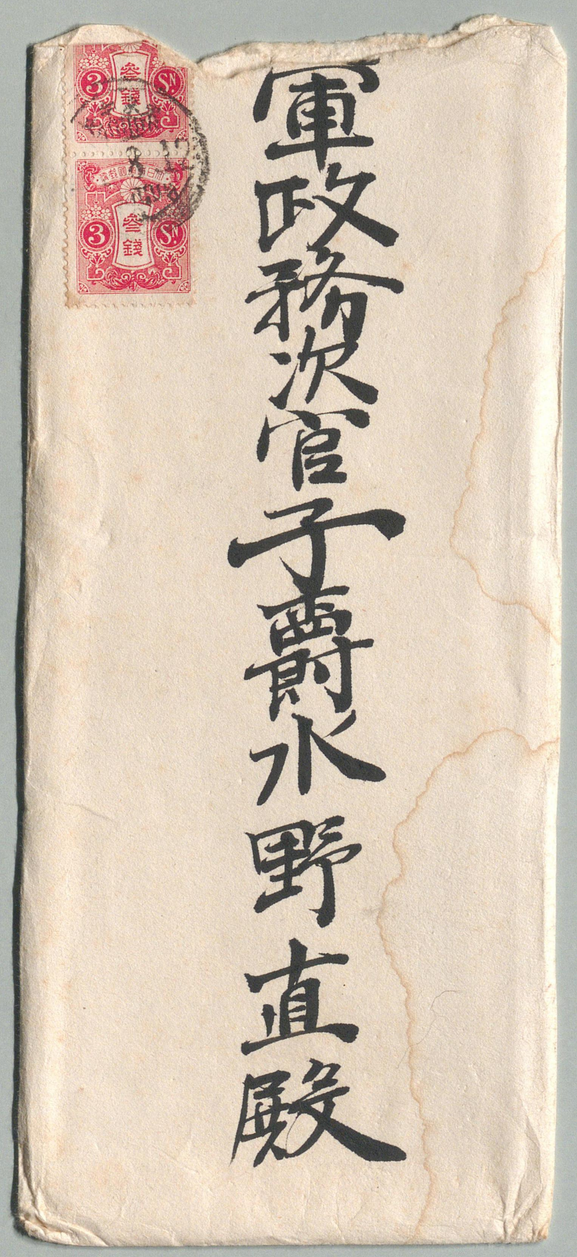

軍政務次官子爵水野直殿

国立国会図書館　水野直関係文書 44

社團法人化學工業協會
副總裁子爵　清浦奎吾

国立国会図書館　水野直関係文書 44

国立国会図書館　水野直関係文書 44

拝啓時下益々御清穆之段
奉慶賀候陳者来春三月
を期し當協會主催を以て
東京上野公園不忍池畔に
第二回化學工業博覽會開
催可致候に付ては同博覽會
名譽賛助員御委嘱致度候條下
御迷惑拝けて御承諾被成
降度全博覽會開設趣意
書及同規則書相添へ此段
及御依頼候
敬具

追而御諾否折返し御回示被降度候

大正十四年八月　日

社團法人化學工業協會

を期し當協會主催を以て
東京上野公園不忍池畔に
第二回化學工業博覽會開
催可致候に付ては同博覽會
名譽
賛助員 御委囑致度候條乍
御迷惑枉けて御承諾被成
降度仝博覽會開設趣意
書及同規則書相添へ此段
及御依頼候 敬具
追ゝ御清手数清諾否折返し清回示被降度候
大正十四年八月 日
社團法人化學工業協會
副總裁子爵清浦奎吾
子爵水野直殿

国立国会図書館 水野直関係文書 44

第二回化學工業博覽會趣意書及規則

東京、丸ノ内、東通五號
第二回化學工業博覽會事務所
電話大手 五二四〇番 五二四一番
振替貯金口座東京 二二〇九番

（大正十五年一月ヨリ事務所ヲ東京上野公園不忍池畔ニ移ス）

第二回化學工業博覽會
開設趣意書

我化學工業協會ハ來ル大正十五年春陽三月ヲ期シ久邇宮邦彥王殿下ヲ總裁ニ推戴スル光榮ヲ得東京市上野公園不忍地畔ニ第二回化學工業博覽會ヲ開催セント欲ス

顧レハ歐洲戰亂勃發ノ際本邦ノ化學工業尙幼稚ニシテ獨逸ヲ以テ化學製品唯一ノ供給地トナシタルカ故ニ忽チ其缺乏ヲ告ケ所謂「醫藥染料ノ飢饉」ヲ來タシ爆發原料ノ如キモ亦憂慮スヘキ狀態ニ陷リタリ朝野爲メニ狼狽シ產業ノ維持ト軍需品ノ獨立トハ一ニ化學工業ニ基因スルコトヲ痛感シ官民相協力シテ俄カニ之カ企劃改善ニ熱中シタリ即チ有志相謀リ大正六年秋東京ニ於テ始メテ化學工業博覽會ヲ開キ本邦ニ於ケル化學工業ノ狀態ヲ展示シ諸般工業ノ發達ハ其源ヲ化學ノ應用ニ發シ一國產業ノ隆興之ニ據テ期圖スヘキ所以ヲ說明スルヲ得タリ斯クテ我國民ノ企業心ハ著シク刺激セラレ各種事業ノ計劃ト共ニ化學工業モ亦都鄙到ル所ニ勃興シ其製品ハ之ヲ海外ニ輸出スルノ盛況ヲ呈シタリ

然ルニ平和克復後外國製品ノ壓倒的輸入ニ依リ本邦化學工業ハ激烈ナル打擊ヲ蒙リ事業ノ休廢相亞キ動モスレハ戰前ノ舊態ニ歸セントス加之大震火災ノ慘禍劇甚ヲ極メ復興材料ノ輸入莫大ニシテ國家經濟上益々憂慮スヘキ現象ヲ呈スルニ至レリ

抑モ化學工業ハ一國產業ノ基本ナルノミナラス國防幷ニ國民ノ日常生活ニ重大ナル關係ヲ有スルヲ以テ斯業ノ盛衰ハ實ニ國運消長ノ岐ルヽ所ナリトス宜ナル哉戰後歐米列國ハ何レモ全力ヲ傾倒シテ之カ發達助長ニ努メ其進步極メテ著シク大ニ見ルヘキモノアルヲ斯クノ如クニシテ今ヤ化學工業戰ハ世界到ル所ニ行ハレツヽアリト雖顧テ本邦斯業ノ狀勢ヲ眺ムルニ彼等ニ及ハサル所多キハ遺憾ニ堪ヘス

凡ソ平時ト戰時トヲ問ハス國家ノ獨立ヲ鞏固ナラシムル爲メ大ニ化學工業ノ振興ヲ圖ラント欲セハ須ラク斯業ニ關シ國民全體ノ覺醒ト其理解トニ俟チ擧國一致之ニ當ラサル可カラス即チ化學工業博覽會ヲ開催シ優良ナル本邦化學製品ヲ展列シ出品者相互ノ研究ニ資スルト同時ニ其製品ノ擴布ヲ圖リ且實物敎育ニ依リテ一般公衆ノ會得ヲ求メ以テ科學智識ノ普及ト發明思想ノ增進トヲ促カシ能ク軍需品ノ充實ト其獨立トヲ完成シ更ニ又退テハ外國品尊重ノ弊ヲ矯メテ以テ輸入ノ輕減ヲ圖リ進ンテハ國產ノ增大ヲ奬勵シ以テ大ニ國運伸暢ノ動機ヲ作ルコト誠ニ今日ノ急務ナリトス

第二回化學工業博覽會ヲ開催スル所以ハ如上ノ理由ニ外ナラスシテ實ニ我化學工業協會本來ノ使命ニ鑑ミテ止ムヲ得サルニ出ツルナリ庶幾クハ大方ノ諸賢奮テ援助ヲ垂レ所期ノ目的ヲ達成セシメラレンコトヲ

大正十四年六月

社團法人 化學工業協會
會長 工學博士 高松豐吉

總裁
久邇宮邦彥王殿下

副總裁
子爵 清浦奎吾

顧問
子爵 金子堅太郎
子爵 澁澤榮一
男爵 平山成信
男爵 武井守正
男爵 阪谷芳郎
男爵 田 健次郎
同 內田嘉吉

役員（理事委員いろは順）

會長 工學博士 高松豐吉
副會長 工學博士 中松盛雄
同 工學博士 牧田環
理事 藥學博士 飯田藤二郎
同 工學博士 池口慶三
同 星野錫
同 小野良三
同 工學博士 鴨居武
同 理學博士 龜高德平
同 工學博士 吉武榮之進
同 工學博士 棚橋寅五郎
同 田中榮八郎
同 田中次郎
同 相馬半治
同 辻村楠造
同 植村澄三郎
同 松岡壽
同 松永安左衛門
同 藤原銀次郎
同 藤田謙一
同 小林音八
同 青木菊雄
同 正田桂太郎
同 農學博士 鹽原又策
委員 農學博士 鈴木梅太郎
同 石川一郎
同 岩田勇
同 工學博士 西田博太郎
同 工學博士 大島義清
同 工學博士 加茂正雄
同 工學博士 田中芳雄
同 根岸政一
同 內田壯
同 熊澤治郎吉
同 久保田四郎
同 山田三次郎
同 山內英太郎
同 小寺房治郎
同 工學博士 厚木勝基
同 水田政吉
同 平野豪
同 關口八重吉
事務總長（兼） 中松盛雄
事務次長（兼） 小林音八
主事 鈴木謙二

第二回化學工業博覽會規則

第一章 總則

第一條 本會ハ本邦化學工業ノ現狀ヲ展示シテ斯業ノ改良進步ヲ促カシ以テ產業貿易ノ發展ニ資スルコトヲ目的トス

第二條 本會ハ第二回化學工業博覽會ト稱シ化業工業協會之ヲ主催ス

第三條 本會ハ東京市下谷區上野公園不忍池畔ニ開設ス

第四條 本會ノ會期ハ大正十五年三月十九日ヨリ同年五月十七日マテ六十日間トス

第五條 本會ニ總裁一名副總裁一名ヲ推戴ス

第六條 總裁ハ會務ヲ裁攬ス

第七條 副總裁ハ總裁ヲ補佐シ總裁事故アルトキハ之ニ代ル

第八條 本會ニ左ノ役員ヲ置ク

會長	一名	理事
副會長	若干名	審查官
審查總長	一名	評議員
事務總長	一名	委員
審查部長	若干名	主事
事務次長	一名	事務員

前項ノ外顧問名譽贊助員ヲ置ク

第九條 會長ハ會務ヲ總理シ本會ヲ代表ス

第十條 副會長ハ會長ヲ補佐シ會長事故アリタルトキハ之レヲ代理ス

第十一條 審查總長ハ出品審查ニ關スル一切ノ事務ヲ監理ス

第十二條 事務總長ハ本會ノ事務ヲ統轄ス

第十三條 審查部長ハ審查ニ關スル事務ヲ分掌ス

第十四條 事務次長ハ事務總長ヲ補佐シ事務總長事故アルトキハ之ニ代ル

第十五條 理事ハ會務ヲ分掌ス

第十六條 審查官ハ審查ニ關スル事務ニ從事ス

第十七條 審查ニ關スル職員ハ主務省ヘ其派遣ヲ申請スルモノトス

第十八條 評議員ハ重要ナル會務ヲ評定ス

第十九條 委員ハ會務ニ參與シ必要アルトキハ擔任事務ヲ掌ル

第二十條 主事ハ會長ノ指揮ヲ受ケ事務ニ從事ス

第二十一條 事務員ハ主務者ノ指揮ヲ受ケ事務ニ從事ス

第二十二條 事務員ヲ除ク外役員ハ名譽職トス

第二章 出品

第二十三條 出品ハ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノナルコトヲ要ス

一 化學工業ニ關スル製品、半製品及原料
二 化學工業ニ關スル機械器具及模型
三 前二號ノ外化學的智識涵養ニ資スルニ足ルモノ

第二十四條 左ノ各號ノ一ニ該當スルモノハ出品スルコトヲ得ス

一 秩序、風俗及衛生ニ害アリト認ムルモノ
二 發火其他危險ノ虞アリト認ムルモノ

出品物陳列後ニ於テ前項各號ニ該當スルニ至リタルトキハ本會ハ其陳列ノ變更ヲ命シ又ハ出品ノ承諾ヲ取消スコトアルヘシ

第三章 審查

第二十五條 出品ハ總テ之ヲ審查ス但シ左ニ揭クルモノハ此限ニアラス

一 官廳、學校ノ出品
二 賣藥
三 外國製品ニシテ出品人ノ製作ニ係ラサルモノ
四 出品部類目錄第四十一類ニ屬スルモノ
五 出品人ニ於テ審查ヲ望マサルモノ

第二十六條 褒賞ハ左ノ六種トス

一 名譽大賞牌
二 名譽賞牌
三 金牌
四 銀牌
五 銅牌
六 褒狀

受賞ニ就テハ異議ヲ申立ツルコトヲ得ス

第二十七條 褒賞ヲ受ケタル出品ノ產出加工製作又ハ事業ニ付其技工設計考案又ハ經營ニ協力シタル者ニ對シ協贊賞狀ヲ授與スルコトアルヘシ

第二十八條 審查ノ爲メ出品物ヲ毀損シ又ハ消耗スルコトアルモ其損害ノ賠償ヲ請求スルコトヲ得ス

第四章 觀覽

第二十九條 本會ノ開場ハ每日午前八時ヨリ午後五時迄トス但シ時宜ニヨリ開場時間ヲ伸縮スルコトアルヘシ

第三十條 入場料ハ大人金五拾錢十五歲未滿ハ貳拾五錢十歲未滿ハ無料トス

五十人以上ノ團体及敎員引率ノ生徒ニ對シテハ入場料ヲ割引ス

附則

第三十一條 本會ノ處務細則、出品規則、審查規程、入場者規定其他必要ナル規則ハ別ニ之ヲ定ム

出品部類目錄

第一部 工業藥品及化學用藥品
第一類 電氣化學製品及用品
第二類 金屬及金屬製品
第三類 窯業品
第四類 漆液及漆器
第五類 ゴム及ゴム製品
第六類 皮革及皮革製品
第七類 壓縮瓦斯
第八類 石炭及加工燃料
第九類 乾餾生成物
第十類 染料
第十一類 肥料
第十二類 爆發物及マッチ（模型又ハ包裝）
第十三類 化學兵器

第二部 礦油及其製品
第十四類 油脂及蠟
第十五類 顏料及塗料
第十六類 擬革、リノリユム及油布
第十七類 石鹼及蠟燭
第十八類 香料及化粧品
第十九類 樟腦、薄荷類
第二十類 醫藥
第二十一類 染織物
第二十二類 人造絹絲
第二十三類 セルロイド及其類似品
第二十四類 紙及紙製品
第二十五類 砂糖及澱粉
第二十六類 酒類及醸造品
第二十七類 飲食物及嗜好品
第二十八類 寫眞及寫眞用品
第二十九類 印刷及印刷用品

第三部
第三十類 雜種化學製品
第三十一類 敎育及醫療用器具機械
第三十二類 分析及實驗用器具機械
第三十三類 化學工業用器具機械
第三十四類 計器類
第三十五類 發光、發熱及燃燒裝置
第三十六類 冷却及冷藏裝置
第三十七類 安全裝置、防熱、防火、防水、防腐、防濕材料及裝置
第三十八類 荷造包裝
第三十九類 理化學ニ關スル圖書、雜誌、統計報告及設計等
第四十類
第四十一類

国立国会図書館　水野直関係文書 44
付属資料

第二回化學工業博覽會出品規則

第一章　總則

第一條　出品人ハ博覽會々費トシテ金拾五圓ヲ支拂フモノトス但シ化學工業協會々員ニ限リ金拾圓トス

第二條　出品人ハ陳列場所使用料トシテ左ノ金額ヲ支拂フモノトス

一　館內陳列場所使用料

イ　動力ヲ使用スル場所

一等　一坪ニ付　金六拾圓

二等　同　金五拾圓

ロ　動力ヲ使用セサル場所

一等　一小間（約半坪）ニ付　金四拾圓

二等　同　金參拾圓

ハ　陳列場所一等ト二等トヲ併合シテ使用スル場合ハ其料金ヲ一等ニヨリ計算ス

二　館外場所使用料ハ一坪ニ付金貳拾圓以上金四拾圓以下トス

三　特殊ノ場所ニ付テハ出品人ト協議ノ上之ヲ定ム

本會ノ設備ニ係ル陳列棚又ハ陳列臺ヲ使用スル者ハ前項ノ外左ノ使用料ヲ支拂フモノトス

一　陳列棚（硝子戸付）使用料

一小間（間口四尺五寸奥行二尺五寸）　金參拾五圓

但一小間ノ二分ノ一以內ハ金貳拾圓

二　陳列臺使用料

一小間（間口四尺五寸奥行二尺五寸）　金貳拾五圓

但一小間ノ二分ノ一以內ハ金拾五圓

所定ノ陳列棚又ハ陳列臺ヲ取除キ出品人ニ於テ特別ノ陳列裝置ヲナス場合ハ協議ノ上其場所料ヲ定ム

第三條　前條ノ料金ハ出品人其ノ出品ヲ廢シ又ハ減少シタル場合ト雖之ヲ返還セス

第四條　特設館及特種ノ陳列裝飾ヲナサントスル者ハ豫メ設計書ヲ提出シテ本會ノ承諾ヲ受クヘシ

第五條　出品人ノ申込ミタル所要陳列場所ノ增減或ハ出品ノ拒絕及ヒ陳列ノ位置配列ノ決定ニ對シテハ異議ヲ述フルコトヲ得ス

第六條　出品ノ承諾ニ依ル權利ヲ他人ニ讓渡シ又ハ陳列場所ヲ他人ニ貸渡スコトヲ得ス

第七條　出品人ハ會期中陳列所ヲ閉鎖シ又ハ陳列品ヲ搬出スルコトヲ得ス但シ陳列換等ノ爲本會ノ許可ヲ得タル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第八條　出品ノ荷造、運送、陳列及裝飾等ニ關スル費用ハ總テ出品人ノ負擔トス

第九條　出品物ノ搬出入、裝飾、陳列及說明ハ出品人ニ於テ之ヲ爲スヘキモノトス但シ出品人ノ請求ニ依リ其ノ負擔ヲ以テ本會ニ於テ之ヲ爲スコトアルヘシ

第十條　出品人ノ爲シタル工事ハ出品人ニ於テ之ヲ原形ニ復スヘシ

第十一條　出品人ハ其ノ雇傭ニ係ル看守人、說明者其ノ他ノ使用人ノ行爲又ハ出品人若ハ其ノ使用人ノ爲シタル設備又ハ工事ノ爲本會又ハ第三者ニ對シテ生シタル損害ニ付一切其ノ責ニ任スヘキモノトス

第十二條　本會ハ出品其ノ他ノ設備ニ付相當ノ注意ヲ爲スト雖モ火災、盜難、亡失、毀損其ノ他ノ損害ニ對シ一切其ノ責ニ任セス

第十三條　出品人ハ規則其ノ他諸規程ニ基ク義務ヲ怠ル時ハ本會ハ適宜ノ處分ヲ爲シ之カ爲生シタル費用ハ出品人ヨリ之ヲ徵收スヘシ

第二章　出品

第十四條　出品人ハ新規若ハ改良セル優良品ヲ陳列シテ其進步發達及應用狀態ヲ展示スルニ努メ成ルヘク舊來ノ普通品ハ種類及員數ヲ減少シテ陳列場所ヲ有利ニ使用スヘシ

第十五條　出品ノ申込期限ハ大正十四年十二月末日迄トス但シ申込豫定以上ニ達シタルトキハ期限內ト雖出品ヲ拒絕スルコトアルヘシ

第十六條　出品セントスルモノハ第一號書式ノ申込書及第二號書式ノ出品目錄二通ニ第一條ノ會費（郵便爲替又ハ本會振替口座拂込）ヲ添ヘ本會ニ差出スコトヲ要ス

出品ヲ拒絕シタルトキハ既納ノ會費ハ之ヲ返還ス

會場ニ於テ出品物ヲ運轉スル爲動力ヲ要スルモノ若ハ出品物巨重ニシテ陳列ノ爲特別ノ裝置又ハ基礎工事ヲ要スルモノハ申込書ニ其ノ旨ヲ記載スヘシ

販賣ヲ爲ササル出品物ニハ出品目錄ニ非賣品タルコトヲ明記スヘシ

第十七條　前條ノ申込ニ對シテハ大正十五年二月十五日迄ニ諾否ヲ申込人ニ通知ス

第十八條　出品承諾ノ通知ヲ受ケタルトキハ出品人ハ第三號書式ノ解說書幷ニ第二條ノ料金（郵便爲替送金手形、又ハ本會振替口座拂込）ヲ添ヘ其ノ通知ヲ受ケタル日ヨリ十日以內ニ本會ニ差出スヘシ

第十九條　出品人ハ大正十五年三月十日迄ニ出品物ヲ搬入シ同年三月十七日迄ニ陳列ヲ終了スヘキモノトス

第二十條　出品物搬入ノ際ハ第四號書式ノ票箋ヲ附スルコトヲ要ス

販賣ヲ爲サヽル出品物ニハ非賣品タルコトヲ明記スヘシ

第二十一條　閉會後出品物ヲ搬出セントスルトキハ本會ニ申出搬出證ヲ受クヘシ

第二十二條　出品物ノ搬出期間ハ閉會後七日以內トス期間中ニ搬出セサルトキハ本會ニ於テ適宜之ヲ處分スヘシ

第三章　出品物賣約

第二十三條　出品物ハ賣約ヲ爲スコトヲ得

第二十四條　出品物ノ賣約ヲ本會ニ委託セムトスルモノハ出品申込ノ際其ノ旨ヲ附記シ其ノ搬入ノ際第五號書式ノ委託證ヲ差出スヘシ

前項ノ場合ニ於テ本會ハ賣約金額ノ百分ノ十ヲ收納スヘシ

第二十五條　出品物ノ賣買契約ハ出品目錄所載ノ賣價ニ依ルヘシ

第二十六條　出品物ノ賣價ヲ變更セントスルトキハ本會ニ申出承諾ヲ經ヘシ

第二十七條　賣約ノ場合ニ於テ代金拾圓以上ノ物品ニアリテハ其ノ二分ノ一以上ノ手附、拾圓末滿ノモノニアリテハ代金全額ノ拂渡ヲ受クヘシ

第二十八條　委託出品ノ賣上代金其ノ他ノ淸算ハ閉會後二ケ月以內ニ之ヲ完了スヘシ

前項拂渡ニ要スル送賃ハ出品人ノ負擔トス

第一號畫式（美濃判）

出品申込書

	等級	所要數	料金
陳列場所（動力使用）		坪	円
陳列場所（動力不使用）		小間	
陳列棚		小間	
陳列臺		小間	

一、何々外何點　（所要動力）

右第二回化學工業博覽會出品規則ヲ恪守シ出品可仕候也

大正　年　月　日　住所　氏名　（商號）（電話番號）

第二回化學工業博覽會事務所御中

第二號書式（甲）（美濃判）

出品目錄

人守看　住所　氏名　（商號）（電話番號）

所場號

大正　年　月　日

第二回化學工業博覽會事務所御中

左記ノ通リ出品候也

第號番附受

出品番號	第部第類	品名	數量	賣價 單價	賣價 小計	摘要
				円	円	

注意

一、本目錄ハ二通調製出品申込ト同時ニ差出サレタシ

二、罫外ノ番號、場所、看守人記入欄ハ空欄ノ儘差出サレタシ

三、本目錄用紙ハ本會調製ノモノ若クハ同一書式ノモノニ限ル、用紙御入用ノ向ハ御申越次第送付ス

四、販賣ヲナササル出品物ニハ摘要欄ニ非賣品ト朱書サレタシ

第二回化學工業博覽會出品目錄用紙

第二號書式（乙）（美濃判）

出品目錄（出品人）

出品番號	第部第類	品名	數量	賣價 單價	賣價 小計	摘要
				円	円	

第二回化學工業博覽會出品目錄用紙

第三號書式（美濃判）

解說書

住所　職業　出品人　氏名

部類	第類	品名
營業所	縣市町郡村	工場所有地　縣市町郡村
工場坪數	（敷地坪）（煉瓦造二階建坪）（木造平家建坪）	原動力種類　（馬力ガスエンヂン臺）（馬力電動機臺）
職工數	男人　女人	職工以外ノ從業者　（技師人）（技手人）（其他人）
原料ノ種類及產地		
製造方法及改良要點		
主要ナル設備		
製造上又ハ製品ヲ特長若クハ効用		
製品ノ種類及單價		
一ケ年間生產數量		一ケ年間ノ生產價格
主要ナル販路		
褒賞		
審査請求主眼		

右之通ニ候也

大正　年　月　日　右　氏名　㊞

第二回化學工業博覽會御中

第四號書式

出品番號第　號	品名	賣價	住所	氏名
		個ニ付		

（注意）非賣品ハ賣價ノ欄ニ非賣品ト朱書スベシ

第五號書式（美濃判）

三錢　收入印紙

出品取扱委託證

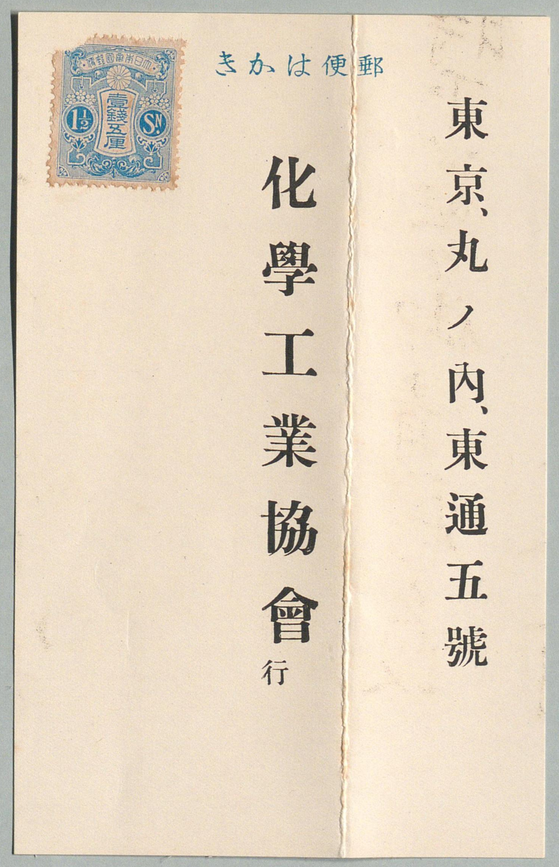
第二回化學工業博覽會ニ別紙目錄ノ通リ出品致候ニ就テハ貴會諸規則ヲ承認シ出品物ノ（搬入、搬出）（陳列）（說明）（賣約）ヲ委託候也

大正　年　月　日　住所　職業　出品人名

第二回化學工業博覽會御中

（別紙目錄ハ出品目錄書式乙ト同一ノモノヲ要ス）

国立国会図書館　水野直関係文書 44
付属資料


きかは便郵

東京、丸ノ内、東通五號

化學工業協會

行

国立国会図書館　水野直関係文書 44
付属資料

住所

氏名

国立国会図書館　水野直関係文書 44
付属資料